

市町村未来づくり交付金自己評価調書

1 事業群評価調書

団体名：京丹後市

| | | | |
|-------------------|--|-----------------|-----|
| 重点目標 | 「ひと」、「みず」、「みどり」歴史と文化が織りなす交流のまちづくり | | |
| | 事業群 | 構成事業名 | |
| d にぎわいおこしの創出 | | 農林漁業活性化対策事業 | |
| | | 観光宣伝、誘客対策基盤整備事業 | |
| | | 丹後の魅力発信拠点整備事業 | |
| | | ウルトラマラソン開催助成事業 | |
| 事業群全体による 成果の概要 | <p>農林水産業者自らが行う有害鳥獣対策、農業用機械器具の購入、堆肥舎建設及び稚魚・稚貝の放流を支援し、生産意欲を持ち、安定した経営ができる資源循環型農林水産業への移行に努めた。</p> <p>また、市域の恵まれた自然環境や歴史的、地理的条件を最大限に活かして観光客等を丹後に誘引するため、インターネットを活用して情報の受発信力を高めるとともに、合併後の統一的な観光サインの調査研究、観光ポスター・パンフレットを作成し、誘客による交流人口の増加に伴う観光関連産業の基盤整備に努めた。</p> <p>さらに、本市一帯をコースにした100kmウルトラマラソンを市民ボランティアの運営スタッフの協力を得て開催し、豊かな自然環境に恵まれた観光地としての知名度を高めることに努めた。</p> | | |
| | ※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。 | | |
| | 成果指標 | | 実績値 |
| 指標式等 | | | |

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

2 個別事業評価調書

団体名：京丹後市

| | | | | | |
|--------|--|--------|--------|-------|--------|
| 事業名 | 農林漁業活性化対策事業 | | | | |
| 事業の概要 | 資源循環型農林水産業への移行を図るため、農林水産業者自らが行う有害鳥獣対策、農業用機械器具の購入、堆肥舎建設及び稚魚・稚貝の放流などの取り組みを支援する。 | | | | |
| | 目標時期 | 平成22年度 | | | |
| | 総事業費 | 90,000 | 本年度事業費 | 9,310 | 交付金交付額 |
| 事業の必要性 | 市域の恵まれた自然環境の保全と生活環境に配慮し、地理的条件や地域の実態に即した資源循環型農林水産業への移行や地産地消への自主的な取り組みを支援する必要がある。 | | | | |
| 事業の有効性 | 生産意欲と経営感覚を高め、経営の安定化を図ろうとする農林水産業者を育成、支援することによって、資源循環型、資源管理型の農林水産業への移行ができる。 | | | | |
| 事業の効率性 | 事業者自らの意思決定による主体的な取り組みを支援することによって、地域や生産環境の実態に即応した効率的、効果的な生産基盤の整備ができる。 | | | | |
| 具体的な成果 | 1 府と市町村等との連携に資する成果 | | | | |
| | 2 住民の自治意識を高める成果 | | | | |
| | 3 リーディング・モデル成果 | | | | |
| | 4 広域的波及成果 | | | | |
| | 5 行財政改革に資する成果 自主的な取り組みを支援し、農林水産業者の省力化と収入増による経営の安定化をすすめることによって、効果的な行財政の運営を目指す。 | | | | |

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：京丹後市

| | | | | | |
|---|---|---------|--------|--------|--------|
| 事業名 | 観光宣伝、誘客対策基盤整備事業 | | | | |
| 事業の概要 | <p>市域の美しい自然環境、景観及び歴史文化を活用し、観光客等の誘引による交流人口の増大や観光関連産業への波及効果を高める基盤を整えるため、合併後の統一的な観光サインの調査研究、観光ポスター・パンフレットやNHK大河ドラマ関連ポスターを作製する。</p> | | | | |
| | 目標時期 | 平成22年度 | | | |
| | 総事業費 | 200,000 | 本年度事業費 | 13,834 | 交付金交付額 |
| 事業の必要性 | <p>美しい自然環境や景観、歴史・文化を活用し、観光客や交流人口の増大を図るとともに地域産業との相乗効果を高めるため、市域の魅力を市外に発信する施策を講じる必要がある。</p> | | | | |
| 事業の有効性 | <p>旧町の観光資源の一本化とネットワーク化をすすめて新市の観光資源として活用することによって、丹後への観光客等の誘引と観光関連産業への波及効果を高める基盤を整えることができる。</p> | | | | |
| 事業の効率性 | <p>丹後観光協会連絡協議会等の観光関連団体との協働により、民間事業者のノウハウを取り入れた観光宣伝、誘客対策が効果的、効率的に実施できる。</p> | | | | |
| 具体的な成果 | 1 府と市町村等との連携に資する成果 | | | | |
| | 2 住民の自治意識を高める成果 | | | | |
| | 3 リーディング・モデル成果 | | | | |
| | 4 広域的波及成果 | | | | |
| | <p>NHK大河ドラマ「義経」の放映にあわせ、ドラマと関連する縁の地として本市PR用の関連ポスターを2,300枚作成し、JR各社の駅に約1,100枚を掲出するとともに、報道機関や関係市町村に約1,000枚を配布した。</p> | | | | |
| 5 行財政改革に資する成果 | | | | | |
| <p>観光客等の交流人口増加に伴う地場産業や事業者への経済的波及効果によって、効果的な行財政運営を目指す。</p> | | | | | |

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：京丹後市

| | | | | | |
|--|--|--------|--------|-------|--------|
| 事業名 | 丹後の魅力発信拠点整備事業 | | | | |
| 事業の概要 | <p>地域の恵まれた自然環境や歴史的、地理的条件を最大限に活かし、地場産品の販路拡大や観光客等を丹後に誘引する交流拠点施設を整備するとともに、ITを活用して情報の受発信力を高めるシステムを構築する。</p> | | | | |
| | 目標時期 | 平成21年度 | | | |
| | 総事業費 | 50,000 | 本年度事業費 | 2,783 | 交付金交付額 |
| 事業の必要性 | <p>地場産業の沈滞を克服して地域活力を再生するため、あらゆる機会と方法を駆使して、本市の知名度と情報の受発信力を高める取り組みや交流拠点施設を整備する必要がある。</p> | | | | |
| 事業の有効性 | <p>インターネットの活用、交流拠点施設の整備によって、伝統ある産業、歴史・文化、自然景観等の地域情報を提供できる発信力と、都市圏等での市場(消費者)動向を即座に共有できる受信力を高める基盤を整えることができる。</p> | | | | |
| 事業の効率性 | <p>市民、民間企業及び行政が連携して研究会を組織し、民間のノウハウやITを活用した効率的な市場調査や新たな流通ネットワーク等の実証研究と施設整備を行うことができる。</p> | | | | |
| 具体的な成果 | 1 府と市町村等との連携に資する成果 | | | | |
| | 2 住民の自治意識を高める成果 | | | | |
| | <p>システムの構築によって、民間事業者の中長期的な商品販売や販路開拓が可能となり、生産意欲、生産・加工技術の向上が図られるとともに、地域産業を活性化しようとする気運が高まる。</p> | | | | |
| | 3 リーディング・モデル成果 | | | | |
| | 4 広域的波及成果 | | | | |
| 5 行財政改革に資する成果 | | | | | |
| <p>インターネットの活用や官民協働の実証研究、民間主導の交流拠点施設の運営によって、効果的かつ効率的な行財政運営を目指す。</p> | | | | | |

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：京丹後市

| | | | | | |
|--------|--|--------|--------|--------|--------|
| 事業名 | ウルトラマラソン開催助成事業 | | | | |
| 事業の概要 | 「丹後王国まほろば海道」の指定を全国に広く周知するとともに、丹後の魅力発信や誘客を促進する「100kmウルトラマラソン」の開催を支援する。 | | | | |
| | 目標時期 | 平成19年度 | | | |
| | 総事業費 | 32,000 | 本年度事業費 | 12,000 | 交付金交付額 |
| 事業の必要性 | 地域活力の再生による地場産業の振興を図るため、自然に恵まれた観光地としての魅力を全国に発信して知名度を高め、来訪者や交流人口を増加させる取り組みを行う必要がある。 | | | | |
| 事業の有効性 | 美しい自然景観を取り入れた市民協働、市民参加型のイベントとして、市外からの参加者や来訪者を誘引することによって、観光関連産業への経済的な波及効果が期待できる。 | | | | |
| 事業の効率性 | 市民で構成した実行委員会を組織するとともに、市民ボランティア、各種団体(1,384人)からの協力によって効率的な大会運営を行うことができる。 | | | | |
| 具体的な成果 | 1 府と市町村等との連携に資する成果 | | | | |
| | 2 住民の自治意識を高める成果 前夜祭や会場、コース沿道で声援する市民とのふれあいの場を提供することによって、魅力あるまちづくり意識の高揚が図られた。 | | | | |
| | 3 リーディング・モデル成果 | | | | |
| | 4 広域的波及成果 風光明媚なコース設定と市民が支える和やかな大会としての魅力を高めることによって、全国各地から参加したランナー等(参加者約1,000人、宿泊者延2,000人)を媒体に、この大会や本市の魅力をPRすることができた。 | | | | |
| | 5 行財政改革に資する成果 観光客等の交流人口増加に伴う地場産業や事業者への経済的波及効果によって、効果的な行財政運営を目指す。 | | | | |

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。